

2022年度 事業報告

施設名 幼保連携型認定こども園 みどり野保育園

施設長名 中田 一夫
種別 保育所
設立 1979年 4月
認可 2022年 4月1日 認可

2023.4作成

*2022年度事業計画に対する評価

少子化が進んでいるとはいえ昨年と同様、認可定員66名に対し利用定員72名をほぼ満たした。1号認定も3名となった。問題のある家庭や発達特性を持つ子どもが今年度も多かったが、子育て、子育て支援に最大限努力してきた。また、特に気になる子どもについては児童要録を9月末に作成し就学前面談に間に合うように小学校に送付した。

今後も小学校との連携を深めスムーズな引継ぎを工夫した。

要保護児童対策協議会、幼保小連携推進委員会、民間保育園団体尼崎法人保育園会などとの連携を進めているが、子ども家庭相談室、療育施設、学童など新規の取り組みをしていきたいところだが実現していない。

特性の強い子どもや家庭に課題のある保護者等と向き合う中で、子どもの「いのち」を常に意識しながら保育を進める。特に「平和」について研修を重ねてきた。

榎田牧師に毎週金曜日、当園に来ていただき、園の仲間として昨年以上に活躍いただいた。久しぶりに教会でバザーが開催され子ども向けのブースも設け、当園も協力した。また、教会の厨房をお借りでき厨房改修工事時には大変助かった。

- 1) 「理念」: 2022年度の年間聖句及び年主題も昨年と同様、保育士全員で考えた。理念に基づく保育実践を意識し共に研鑽に励んだ。
- 2) 「人財」: 副校長、主幹教諭2人の体制の下、安定した保育運営がなされた。環境整備は整ったので2023年度は外部研修等の参加を促進し次世代の体制づくりに力を注ぐ。
- 3) 「施設・環境」: 第1期改修工事では内装、第2期改修工事では外壁、そして厨房の工事が完了した。保育上のことで言えば、室内の机やハンガーラック、遊具やゲーム類などは希望に応じて整備してきました。第3期はいよいよ園庭改造を行う予定がある。
- 4) 「保育」: 環境整備が進み、担当保育、異年齢保育は安定しているが、発達特性のある子どもへの対応に苦心しているが工夫を重ね、保育士の資質が向上している。
- 5) 「経営」: 年間通して定員60名に対して平均71名で推移しチーム保育推進加算などもあり、第3期施設改修に向けて1,500万円程度の積立を行った。

1. 事業運営の概況

園児定員	クラス数	保育時間			
		通常保育	早朝保育	延長保育	休日保育
66 (内1号6)	4	7:00~18:00	なし	18:00~19:00	なし

2. 保育実績

① 在籍園児数

月	保育日数	在籍園児数							障害児・一時・休日・特例保育等の1日平均利用人数
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	
4	25	4	10	11	17	16	13	71	療育加算対象児: 11名
5	23	4	10	12	17	16	13	72	
6	26	4	10	12	17	16	13	72	
7	25	4	10	12	17	16	13	72	一時保育利用児: 実施していない
8	26	4	10	12	17	16	13	72	休日保育利用児: 実施していない
9	24	4	10	12	17	15	13	71	
10	25	4	10	12	17	15	13	71	延長保育利用児: 平均3名
11	24	4	10	12	17	15	13	71	

12	24	4	10	12	17	15	13	71
1	23	4	10	11	17	15	13	70
2	22	4	10	11	17	15	13	70
3	26	4	10	11	17	15	13	70
計	294	48	120	140	204	185	156	853

〈結果〉

- 1) 2021年度の年間の延べ在園児数は854名に対して2022年度は853名のほぼ同数。
- 2) 療育加算対象児が11名在園（昨年度5名）
- 3) 延長保育利用者11名（昨年度10名）

② 職員構成（年度末時点、上段に実数、下段に最低基準を記入）

常勤職員							非常勤職員					合計
施設長	副園長	主幹教諭	保育教諭	調理員	その他	計	保育士		その他		計	
							常勤並	短時間	調理員	事務員		
1	1	2	10	(1)		15		1	(3)	1	5	20
1	1	2	7	1		12			(委託)			

〈結果〉

定年後の再雇用2名、他園からの異動1名、年度途中（11月）に常勤的非常勤職員を1名採用し体制を整えた。2023年度は他施設への異動1名したが、産休復帰1名でカバーした。今後産休2名を控えている。

*（ ）調理員は委託先職員数

3. 園児の処遇実績

イ) 健康管理

定期健康診断			測定・検査など		
診療科	実施月日	備考	内容	実施月日	備考
内科	5月16日、10月27日		身体測定	毎月1回	
歯科	5月12日		尿検査	なし	
眼科	6月8日		予防接種	なし	
耳鼻科	6月21日		その他	なし	

ロ) 栄養管理（食事・おやつ）の取組み

- 1) 一富士フードサービス（株）と委託契約7年目に入り安定した給食提供ができています。
- 2) 給食だよりをさらに充実させ食育等の啓発に努めた。（毎月1回）
- 3) 昨年と同様にトマトの苗等の野菜を育て食育を行った。
- 4) 給食会議を定期的で開催し、園行事などの協力関係は安定している。（イースター、秋祭り、もちつき、など）

ハ) 年間行事

月	実施内容	保護者会活動
4	入園式・進級式 イースター礼拝 交通安全指導	
5	4・5歳児親子遠足 創立記念日	書面での総会
6	5歳児「昆虫館」（雨天）花の日礼拝、歯磨き指導、総合防災訓練 3歳児親子遠足（雨天中止）	役員会
7	プール開き すいか割り 5歳児キャンプ	役員会
8	プール遊び	
9	秋祭り（園児と家族）	秋祭り
10	運動会 芋掘り遠足（4・5歳児） 芋ほり体験（2・3歳児）	運動会の参加賞配布
11	「ドングリで遊ぼう」エコロプロジェクト、収穫感謝礼拝、焼き芋パーティー、尼崎教会バザー中止	尼崎教会バザー協力（中止）
12	クリスマス会、総合防災訓練、アドベント礼拝と人形劇	クリスマスプレゼント配布
1	5歳児「廃線ハイク」（中止）	
2	生活発表会、就学前合宿保育、もちつき、新入児面接	役員会（新役員の選出）
3	お別れ会 卒園式	役員引き継ぎ会、卒園児へのプレゼント配布 保護者会から寄付あり

<毎月の行事>
 合同礼拝(毎週) 誕生会 避難訓練 コスモ運動遊び月2回 (3, 4, 5歳児)

<結果と考察>

昨年と同様、コロナ禍にあっても子どもの行事はすべて執り行い。主要な行事の保護者参観は制限をかけて行えた。年々発達特性を持つ子どもが増え、行事の在り方の見直す必要性に迫られた（特に生活発表会）。また、秋祭り、教会のバザーについては共同開催などの道筋を模索し始めた。

二) 安全管理

火災	・6月30日、11月24日総合防災訓練実施 消防用設備点検年2回
地震	・地震想定避難訓練 ・防災関連緊急連絡のためメールの一斉配信ができる体制にある。
津波・浸水	・津波想定避難訓練 避難場所の確認
防犯	・不審者想定避難を職員で共有 ・防犯カメラを設置した。 ・玄関オートロック・夜間侵入警戒センサー
衛生	・各クラス加湿・空気清浄器 乳幼児トイレにペーパータオル（フォルダーを設置） 防虫防除年2回実施 ・インフルエンザ感染予防の為アルコール配置
防災備品	・各クラス及び事務所に非常用持ち出しリュック配備 ・1Fに水20×18本、ウォータータンク200 2つ、LEDランプ （乾電池単1×12本、単2×8本）・停電に備え、既にあるソーラー充電器に加え、 防災用ガス発電機を新たに購入。 ・簡易トイレ、紙コップ40個、ビスコ30枚×3缶、乳児用避難車、カレー・白米40食分 ・非常食（3日分）・おんぶひも（ツイン抱き）1セット・アクアリブ（消毒液）・寝袋6つ 屋上に防災備品保管用倉庫設置 ・AEDを設置 ・斧・鉈を新たに購入
救急講習会	新人2名受講（田中・小島）

ホ) 賠償保険等の加入状況（利用者対象）

保険種別	会社・団体名	補償内容（金額）
施設賠償責任保険	全国私立保育園連盟	対人1名10億円 対物1事故1,000万円 死亡共済付 保育者賠償責任特約付
園児団体傷害保険	全国私立保育園連盟	死亡・後遺障害215万円 入院2,250円 通院1,500円
災害共済	日本スポーツ振興センター	負傷、疾病（医療費の療養に要する費用の4/10） 後遺障害見舞金（88万円～4,000万円） 死亡（最大3,000万円）
火災保険	あいおいニッセイ同和損保	建物1億円 備品・計器類1,000万円
行事参加者傷害保険	AIG損害保険	死亡・後遺障害3,501千円 入院4,500円 通院3,000円

4. 職員処遇の実績

イ) 職員の健康管理

- 1) 定期健康診断 年1回、検診内容（胸部X線、血液検査、血圧、尿、心電図、問診他）
- 2) 検便：栄養士・調理員 年24回、保育士（乳児・かめぐみ0・1歳担当） 年12回
- 3) インフルエンザ予防接種 奨励のみで義務化はしていない。接種費用を園負担（上限あり）

ロ) 労務管理

- 1) 1ヶ月単位での変形労働制が定着している。
- 2) 夏季賞与1.8ヶ月、冬季賞与2.0ヶ月支給
- 3) 処遇改善Iは期末に1.25ヶ月一括で支給。
- 4) 有給取得はすべて職員が5日以上消化した。

ハ) 職員会議（高齢除く）

内容	実施回数（開催時間）
職員会議 運営全般 行事計画反省等	月1回（2時間）
乳児（各クラス かめ・ぺんぎん）・幼児担当者会	月1回（1時間）
保育士ミーティング	月1回（2時間）
給食担当者会	月1回（30分）
リーダー会	週1回（90分）

ニ) 研修実績 (イエス団含む)

No.	研修名	主催者	研修内容	開催時期	
1	神戸コダーイ研究会	神戸コダーイ	幼児の発達	4/26～5 回	
2	神戸コダーイ研究会	神戸コダーイ	美術と文学	5/10～4 回	
3	神戸コダーイ研究会	神戸コダーイ	環境認識と数学	5/19～4 回	
4	新任保育士研修	日本キリスト教保育所同盟	キリスト教保育を学ぶ	5/20 YouTube 配信	
5	キッズいわきオンライン保育研修	キッズいわき・ぱふ	育児担当保育食事編	5/10	
6	職員研修	兵庫キリスト教保育園協議会	保育と讃美歌、こどもとともに歌う	6/20	
7	保育所職員専門研修	尼崎市	人権を大切にする保育	6/10	
8	全県幼児教育連携促進研修会	兵庫県福祉部こども政策課	幼児期の教育と小学校教育の接続と今後の幼児期の教育に求められることについて	7/1～8/31	
9	キッズいわきオンライン保育研修	キッズいわき・ぱふ	育児担当保育食事編②	6/7	
10	保育所職員専門研修	尼崎市	就学に向けての保育・保護者支援について	6/22	
11	尼崎市保育士等キャリアアップ研修	保健福祉振興財団	乳児保育	7/9, 7/30	
12	尼崎市保育士等キャリアアップ研修	保健福祉振興財団	幼児保育	11/19, 11/26	
13	尼崎市保育士等キャリアアップ研修	保健福祉振興財団	障害児保育	7/16, 9/3	
14	尼崎市保育士等キャリアアップ研修	保健福祉振興財団	食育・アレルギー対応	11/5, 12/17	
15	尼崎市保育士等キャリアアップ研修	保健福祉振興財団	保健衛生・安全対策	12/10, 12/24	
16	尼崎市保育士等キャリアアップ研修	保健福祉振興財団	保護者支援・子育て支援	8/6, 8/27	
17	保育士等キャリアアップ研修	兵庫県保育協会	障害児保育研修会	9/5	
18	キッズいわきオンライン保育研修	キッズいわき・ぱふ	子どものあそびを高める大人の関り	9/18	
19	キッズいわきオンライン保育研修	キッズいわき・ぱふ	育児担当保育 あそび編②	9/6	
20	障害児保育事例研修会	尼崎市	障害のある子どもの理解と支援のために	9/15	
21	職員研修	尼崎市園会	じょうずに食べる、食べさせる～接触機能の発達とその援助～	9/6, 9/7	
22	神戸コダーイ研究会	神戸コダーイ	わらべうた	10/22	
23	神戸コダーイ研究会	神戸コダーイ	2歳児から幼児クラスへ	10/5, 11/2, 12/7	
24	神戸コダーイ研究会	神戸コダーイ	乳児保育・環境	10/19, 11/30	
25	キッズいわきオンライン保育研修	キッズいわき・ぱふ	子どもが落ち着ける 7つのポイント	10/1	
26	キッズいわきオンライン保育研修	キッズいわき・ぱふ	乳児のおもちゃの選び方・与え方	10/1	
27	キッズいわきオンライン保育研修	キッズいわき・ぱふ	“アナログゲームが育む”人と関わる力”	10/1	
28	職員研修	兵庫キリスト教保育園協議会	クリスマス理解	11/17	
29	職員専門研修	尼崎市	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「アプローチカリキュラムについて」	11/11	
30	施設訪問研修	兵庫ブロック JB フェローズ	施設訪問研修	11/22	

31	リーダーシップ研究ゼミ	日本キリスト教社会事業同盟		11/24,11/26	
32	キッズいわきオンライン保育研修	キッズいわき・ぱふ	笑って学ぶ子育てコツ	12/1	
33	キッズいわきオンライン保育研修	キッズいわき・ぱふ	ままごと遊びを育てる	12/1	
34	キッズいわきオンライン保育研修	キッズいわき・ぱふ	つみ木あそび	12/1	
35	キッズいわきオンライン保育研修	キッズいわき・ぱふ	アナログゲームが育む”人と関わる力”	12/1	
36	キッズいわきオンライン保育研修	キッズいわき・ぱふ	子どものあそびを高める大人の関り	12/1	
37	地域型保育事業現任研修	尼崎市	乳幼児の主体性を育む保育～0歳児の育ちを大事にして～	12/9	
38	保育士等キャリアアップ研修	兵庫県保育協会	保護者支援・子育て支援	12/26	
39	職員研修	兵庫キリスト教保育協議会	保育と讃美歌、子どもとともに歌う第2部	1/10	
40	にっぽ保育セミナー	日本保育協会	適切な保育を続けていくために	2/17	
41	保育士等キャリアアップ研修	兵庫県保育協会	乳児保育研修会	2/21	
42	保育士等キャリアアップ研修	兵庫県保育協会	食育・アレルギー対応研修会	2/13	
43	竹谷幼稚園研究保育	幼稚園教育研究会	考え試し遊びこむ子どもの育成を目指して	3/1	
44	新任職員研修	イエス団本部		3/22	
※()以外は保育士					
<p><結果と考察> オンライン研修が定着し昨年並みの研修の受講数となった。2023年度から処遇改善Ⅱに関してはキャリアアップ研修受講が必須となったため、意識的に受講を促した。</p>					

ホ) 福利厚生<退職共済制度(機構・府県・市)、福利厚生制度等>

- ・社会福祉施設職員等退職手当共済制度(福祉医療機構)
- ・労基法の改正に基づく就業規則の変更は随時行った。
- ・業務災害総合保険(AIG損害保険): 死亡・後遺障害 1,000万円 入院 5000円/日 通院 3,000円/日

5. 子育て支援・地域との交流の報告

月	子育て支援センター	月	地域交流との交流
4		4	
5	子育て相談を随時受付	5	
6	〃	6	花の日にちなみ、園医さんに花をとどける。 なにわローランド訪問(中止)
7	子育て相談を随時受付	7	
8	〃	8	
9	〃	9	秋祭り(園児と家族)、人形劇 尼崎市立中央中学校トライやるウィーク
10	〃	10	県立尼崎高校「教育と絆」
11	〃	11	(中止)
12	〃	12	めっきらもつきら人形劇
1	〃	1	
2	〃	2	もちつき(園児のみ)
3	〃	3	
<p>その他 ・施設訪問支援として「たじかの」3回、「阪神特別支援学校」2回、「いくしあ」1回 ・園見学を随時</p>			
<p><結果と考察> ・コロナ禍において園外での大人を交えた交流はほぼできなかった。 ・園庭開放はできなかったものの、子育て相談の機会だけは提供し続けた。</p>			

6. 施設・設備の整備の実績（項目、金額、実施月等、10万以上記載）

整備名称	金額	勘定科目	財源	実施月
哺乳瓶用殺菌灯付保管庫	104,115 円	器具及び備品	運営費	6 月
冷凍冷蔵庫 2 台	594,000 円	器具及び備品	運営費	8 月
厨房収納庫	160,600 円	器具及び備品	運営費	2 月
厨房改修工事	9,163,000 円	建物	運営費	3 月
飛散防止フィルム貼工事	357,500 円	建物	運営費	3 月
外装修繕の設計・監理業務、 厨房改修監理業務（完了前）	1,221,000 円	建物	運営費	11 月
外装修繕の設計・監理業務 厨房改修監理業務（完了後）	1,210,000 円	建物	運営費	3 月
大規模改修工事 外壁塗装	19,250,000 円	建物	運営費	5 月予定
大規模改修工事 追加工事	1,057,100 円	建物	運営費	5 月予定
小計	33,117,315 円			

*固定資産台帳に乗らない消耗品も掲載した。

7. 会計決算の状況

1) 主な収入

事業活動収入 125,900 千円（昨年度 117,179 千円）8,721 千円の増

<内、障がい児保育事業補助金 9,680 千円（昨年度 4,448 千円）5,232 千円増

衛生整備事業補助金（厨房改修）に対し 4,500 千円増>

2) 主な支出

人件費支出 83,747 千円（昨年度 76,318 千円）7,429 千円増（処遇改善Ⅲ、異動 1 名、中途採用等による）

業務委託費 10,040 千円（昨年度 9,476 千円）564 千円増

研修費 148 千円（昨年度 82 千円）66 千円増（研修参加は増えたがオンライン研修が主であった）

建物取得支出 31,117 千円（主に外壁塗装工事、厨房改修工事）

3) 収支差

年間を通して定員 60 名に対して 71 名を推移。0 歳児も定員 6 名に対し後 4 名であったが 1 歳児が 10 名で安定した収入が入った。1 号認定 6 名定員に対し 2 名であった。

事業活動収支が 16,967 千円（昨年 17,423）あった。昨年より 456 千円少ない。人件費が大幅に膨らんだが保育事業収入も相当分増えた。大規模改修等を行ったが積立を 28,000 千円取り崩し対応。結果、15,000 千円を保育所施設・施設整備に積立てを行った。結果、当期末資金収支差額は 70 千円となった。

8. その他

1) 幼保連携型認定こども園への移行 1 年間目、1 号認定は 2 名であった。

2) コロナ禍にあっても子どもの行事はすべて実施した。

3) 人材確保は困難を極めている。単独の努力だけでは限界もある。

4) 尼崎教会の活動も少しずつ再開し今年度はバザーが開催され協力も行った。